

## ねむの木会の皆様

八チ高原「ロッジ 青い鳥」の主人、一の本 誠氏は去る3月10日亡くなったそうです。金井 健二さんから連絡を頂きました。早速中村コタマさん（健さん夫人）に電話、問い合わせた所、コタマさんも数日後に村人からの連絡で知ったそうです。

葬儀などは、スキー・シーズン中と云う事も有って、ごく内輪に、家族葬的に行い、香料や事後のお供え物等もお断りしているそうです。私は、ACKU 例会でねむの木に滞在中の3月7日、久々に訪るつもりでしたが、あいにく 時間が無く「また 今度・・・」と見送ってしまいました。

彼は中村健さんの悪口をよく口にしていました。彼は八チ高原にペンション式のロッジを最初に建設した人です。すでに早くから高原で山小屋を運営していた健さんとは張り合う事も少なく無かったのでしょう。二人は八チ高原のパイオニアでした。本当に仲が悪かったのかどうか判りません。ACKUの「千本杉小屋」建設の時も、健さんの下でひと働きしています。

ところが 後年態度が大きくなり「千本杉小屋建設は 俺が取り仕切って、采配を振った・・・」と大ボラをよく吹いていました。ACKUの皆さんも現役時代に彼に出会った方が少なく無いと思います。

ねむの木の運営を担当し始めた頃、利用者がオーバーした時の「助け舟」に彼のロッジの2階を借用する交渉して、素泊一人1,000円で約定しました。何度かこれを利用した事が有りますが、料金は一切受け取りませんでした。そんな事もあって、また地元の「ウルサガタ」との付き合いの意味も有り、山荘でおでんを煮た時は「ひと鍋」下げて、ダベリに行ったものです。訪ねると、決まって「エンチキンは元気か・・・？、保坂さんは惜しい事をした、ツマさんはどうか・・・」と云うのが常でした。八チ高原でこの様にACKUの大先輩の名を口にする人もこれで終わった様です。享年は85～86歳位だったと思います。死因は聞いていませんが、2年ほど前から車椅子の生活でかなり弱っていた様です。私は早い機会に八チ高原に出向き、「おでん一鍋」下げて、残されたおばちゃん（キミちゃん）を見舞い、お悔やみを云う積りです。

なお、中村コタマさん・・・中村のおばちゃん・・・は、現在 姫路市の県営住宅で一人住まいです。元気になっているとの事ですが、電話の私の声が懐かしいと・・・後半は涙声になってしまいました。ご縁のある方は、一度電話でもして上げて下さい。うちのカミさんは時々慰問の為にちょっとした季節の物等を送っている様です。次男さんや、孫さんが 近くに居り（福崎）、生活にも困っていない様ですから、何か気の効いた、心の籠もった「慰問袋」でも送って下さると有難いと思います。コタマさんは 間も無く90歳・・・ 成年と聞いています。

住所、Tel は 次の通りです。

中村 コタマ

〒679-2124 姫路市豊富町甲丘1丁目1番地江鮒 一棟 204 tel 0792-64-5993

なお、コタマさんはよく京都の娘さんの所に出掛けてしばらく滞在している事が有ります。